

◀ S · E · L · D · A · A ▶ No.33

平成13年 10月20日発行

上智大学英語学科同窓会
東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学英語学科事務室気付

Sophia English Language Department Alumni Association



これからの同窓会を考える

石川 雅弥 (1965年(昭和40年)卒)

この度、計らずも英語学科同窓会 SELDAA の会長の拝命を受けることになりました、昭和40年卒の石川です。就任のお話があった当初は、歴代の会長諸氏と比べ、私ごとき若輩者の任に非ずと固辞したのですが、1983年に同窓会が設立されて以来、何らかの形で会の運営に携わってきており、また、何よりも私自身が英語学科の卒業生であることを誇りに思い愛着を持っていることも事実ですので、これは天声と思ってお受けすることに致しました。

大学時代は決して長い時間ではありませんが、人生のなかで重要なウエートを占めていることは否めません。そして、それは何物にも代え難い大切な歳月であったと思われる方々も多いのではないのでしょうか。卒業生同士をつなぐパイプ役として、同窓会では二大事業として定期的に名簿の作成と会報の発行をしており、世界中で活躍している会員諸氏間のコミュニケーションの一役を担っているとされます。しかし、今後のことを考えると、それだけではなく、さらに会員の皆様と同窓会がインタラクティブな双方向のコミュニ

ケーションを確立することが今後の大学と学科の発展にとって不可欠であると思われます。それは同窓生間の親睦をはかる意味でも重要なことです。そのためには、皆様のお知恵を拝借しながら SELDAA をより発展させていきたいと思えます。

学び舎としての大学も時代の流れを無視するわけにはいきません。現に、上智大学では、大学教育・研究・キャンパス再興の「グランド・レイアウト」として、大学創立100周年に当たる2013年を視野に入れながら、「世界に並び立つ大学」として成長し成熟するための基本的な方向性が示されています。一方、世の中では国立大学の統廃合が云々されております。私立大学でも、望むと望まざるに関わらず少子化現象に伴ってそれぞれ独自のアイデンティティーを打ち出し、時代の変化に対応していくことが求められております。今後も英語学科が現在の体制で継続するという保証はありません。大学では、グランド・レイアウトに基づき大局的な見地から検討することになります。そのような検討過程で、できれば同窓会としての意見を反映させ、そして SELDAA が大学と学科の発展に寄与できるような機関になるよう、会長就任期間を精一杯努めさせて頂きたいと思えます。

最後に、皆様のご指導・ご助力を賜りますようお願いいたします。

SELDAА ホームページ

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~seldaa/>

2002年度定例総会を、2002年5月26日(日)開催のオールソフィアンの集いにあわせて行なう予定です。

なお、詳細は決まり次第、別途お知らせいたします。

"Time lapses like a flick!"

齊藤 芳隣(1965年(昭和40年)卒)



ソフィアを卒業し、もう36年、思えば昨日の様ですが、昔、紅顔の青年も今は白髪となりました。マルハに勤め、この間、コートジボアール、ケープタウン、ロサンジェルス、ニューヨーク、ソロモン共和国、バンコックに駐在し外国生活も25年になり、各地に沢山の友人を得ました。近い将来、再び訪ねて行き、旧交を温め、一献の酒を酌み交わしたいものと念じています。1993年バンコックでマルハを退職し、現在は永住権も得て、食品販売会社 Saito Foods Co., Ltd.を運営しています。

サラリーマン時代には、ボストンの空輸まぐろ事業を立ち上げた事や、バンコックに子会社を設立したこと、缶詰のプルトップ缶の改良で特許を取った事など、思い出に残る仕事も幾つか有り、良い思い出の積み上げの上に、今は自分の会社を順調に経営しています。

最近の嬉しいことは、今年から長男夫婦がバンコックに来て、我社の経営に参加してくれたこと、次男が日本の高校に進学したこと、ジェットロ発行の「食べた、作った世界の料理」という本に我が社が紹介されたこと等です。

南国の人も風土ものびのびとしており、この国を気に入っています。余暇には家内と共にタイ国日本人会で太極拳同好会を主催し、毎年11月の文化祭で表演してきましたが、1990年からですので、これも11年の長きになりました。心身共に元気な毎日を送っています。日本には年に何回か帰りますが、「青春のソフィア」にも行って見ようと思っています。バンコックは日本から5.5時間で、けっして遠くではありません。同級、同窓の皆さんも、当地に来られたら、是非、お立ち寄り下さい。

私のメールアドレスは、saitofd@sb4.so-net.ne.jpです。ご連絡をお待ちします。

ロンドンのサラリーマン事情

栗村 真 (1992年(平成4年)卒)



昨年の暮れからロンドンにある邦銀系証券現地法人で働いています。転勤の辞令が出てから赴任する迄の間は、生き馬の目を抜く投資銀行の過酷な職場環境を想像すると同時に、典型的な英国紳士・淑女に囲まれ落ち着いた生活を期待していました。ここではこちらに来て9ヶ月余り過ぎた今の感想を述べてみたいと思います。

私の勤務する投資銀行は多様な先端金融商品を駆使して各国の投資家や法人のニーズに応える業務を行っており、同僚の中には所謂「ディーラー」や「トレーダー」と呼ばれ、腕一本で世界を渡り歩いている人もいます。私は事務部門の仕事をしております。こんな職場でも一部の「ディーラー」や「トレーダー」はともかく、全体的にはのんびりしていると感じられます。どんなに忙しくても昼は皆確実に一時間休み、夕方6時にもなると大半の人が帰り、月曜日と金曜日に何故か病欠が集中します（これは或る人に言わせると英国人の悪習で、当地の同業他社でも同じだそうです）。

一方生活し始めて間もなく、特にロンドンはとても国際的な街であると痛感する様になりました。渡英前は英国文化は概して日本人気質に通じ、閉鎖的な面があるという印象を持っていました。あく迄個人的な印象ですが、現代のロンドンは十分にコスモポリタンの名に相応しく多様性と活気に満ち懐の深い街だと思います。そんな街ですから、「英国的紳士・淑女」というステレオタイプ化された人種は今となっては一部の人だけなのかもしれません。

しかし人種を問わず共通しているのは、実に多くの人が私生活を楽しんでいる点だと思います。多くの英国人が定時に退社するのもこの為でしょう。皆個人の生活を重視しているのです。私自身も今後のこちらでの生活を通じ、人生観・価値観を見つめ直す機会を持てればと考えています。

卒業生短信

8月末までに事務局に届いたお便りを掲載いたします。(本文中では敬称を略しております。ご了承ください。)

また、皆様からのお便りを募集しております。ご自身の近況、自著の宣伝等、なんでも結構です。

同封の葉書に書いて、同窓会事務局までお送りください。

■中国南京市にてシルバーボランティアとして日本語を2年間教えてきました。まさに60の手習いです。日本への憧れと日本語への愛でいっぱいの子学生達を前にし、黒板に大きく「あ、い、う、え、お」と書きながら、自国語を教えることイコール自国語への再認識となり、改めて日本語の美しさを感じました。しかし、教えられた基礎ははるか昔、上智のフォーブス先生、マケックニー先生などの御指導の上にあり、それなくしては不可能だったのです。還暦を迎える同級生諸氏、你们好。

岡(旧姓 神徳)興世(昭和38年卒)

■フジTV「クイズ\$ミリオネア」に妻(上智S61文社卒)が出演し、私は応援者として出演、250万円をゲットして参りました。

昨年3月野村證券を退職し、陶芸作家の道に飛び込んだ私の独立資金の足し、窠を作るためという目的でしたので、嫌でも私がクローズアップされます。

妻は「鑑」として持ち上げられ、私は司会のみのもんたさんにさんざんイビられ、大爆笑のうちに収録を終え、なかなか盛り上がった番組となりました(1月25日放映)。
松井 宏之(昭和59年卒)

■現在、大阪・梅田近くの病院で3年目の精神科医として働いています。

1991年に英語学科を卒業後、1993年に千葉大学の医学部に入学し、卒業後、関西に来て医者として働き始めました。

英語学科に入学したときには、まったく思いもよらない人生の展開になりましたが、私が自分の進む道を見出したのは、上智の英語学科に入学したことから始まったのだと思い、深く感謝の念を抱いています。

1988年から1990年までシアトル大学に留学させてもらったことが、私の人生の転機になったと思います。そこでの経験、そこで出会った人々、そこで学んだことが私にdramaticな変化を生じさせました。シアトルで実存的心理学を学び、私は、自分のvocationが人のところに寄り添う仕事だと感じました。上智という大学が、イエズス会のspiritから生み出された大学だということも、そこには関係しているように私には思われます。

1986年に上智に入学したときは、まったく異なる次元に今の自分は立っている気がします。私は、三つの大学を卒業してしまったのですが(節操ないですね)、私

にとつてのalma materは、間違いなく上智大学ただ一つになると思います。

E-mail: CXA01116@nifty.ne.jp

平田 俊明(平成3年卒)

■5月20日(日)、鹿児島純心女子大学での9年の教授生活を終えられ、4月に神戸の六甲カトリック教会の叙任司祭として着任されたニッセル神父を、昭和39年卒の5人(木原佳紀、大志万勇次、長谷克久、原田博昭、長縄友明)で訪ねました。

ニッセル神父は75才。腹まわりが少し太くなられた以外は、昔のままの若さを保っておられます。翌5月21日は、4ヶ月の予定で、故郷のボルティモアに発たれました。

六甲カトリック教会: 〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-2 電話078-851-2846

長縄 友明(昭和39年卒)

■バンコクに単身赴任して1年が経ちました。当地でもソフィア会があり、ソフィアンとの交流を深めています。長女が高2になり、ソフィアンを目指して頑張っているようです。結果は2年後、果たしてどうなるやら…。

齊木 宏之(昭和51年卒)

■4月から沖縄の宮古島で作業療法士として、障害を持つ人のリハビリの仕事をしております。英語とは直接関係のない分野ですが、言葉の不自由な人のコミュニケーションについて、毎日考えることが多いです。

宮寺 淳子(平成5年卒)

■13年ぶりに東京へ。住居も学生時代に住んでいた荻窪に戻ってきましたので、学生の頃に抱いていた夢とか希望とかもう一度思い出しつつ、頑張ろうと思っています。

1999年に小説『神戸コンタクトレンズストーリー』を出版しました。新作も早く日の目を見られるよう頑張ります。

村岡 明(昭和63年卒)

■永年携わってきたイメージコーディネーターの仕事にコーチングを加えた新しいコースを始めました。もともとは美容やファッション面でのイメージアップをアドバイスするのが主でしたが、実は精神面への効果が非常に大きいことを痛感しました。

数年前から学んでいる心理学を活かし、誰もが自分の中にある幸せになる力を引き出すコーチ(コーチング)として共に成長していく場を設けました。色彩や美容を通じて、外面だけでなく内面的な豊かさを求める方々が心を開き、自他を受け入れていくスペースですので、是非遊びにいらしてください。

タハラ・イメージスタジオ

成宮(旧姓 武田) むみ(昭和42年卒)

■糸瀬茂さんの事ー若きエコノミストへのオマージュ「ニューステーション」に、「宮城大学事業構想学部教授・エコノミスト」として登場し、自らの末期食道癌との闘病を公表し、今年6月30日未明、この世を去った糸瀬茂さん(昭和52年英語学科卒)とは、その昔小さな出会いがありました。20数年前、私はある英国オーディオ・メーカーの日本支社に勤務し英国人支社長の秘書をしていましたが、第一勧業銀行の営業担当として経理部に通っていたのが糸瀬さんでした。初対面の時のご挨拶で同じ大学の先輩・後輩だとわかりましたが、若さ溢れる表情で、「僕は頭取になります」と言い切る彼の自信満々の言動と同時にふとした時に目元に見せる哀愁の表情が印象的な方でした。ある日、いつものように自信溢れる表情で経理部にやってきた彼は、帰りがけ、今にも泣き出しそうな顔をして「原岡さん、助けて下さい。僕、課長さんに嫌われちゃってどうしようもないんです!」と言ったのです。

それからの彼は、彼の公表されている履歴によれば「勸銀より派遣され、スタンフォード大学経営大学院にてMBA(経営修士号)を取得、外資系証券会社を渡り歩き、教授を一般公募していた宮城大学の事業構想学部の教授に応募、18倍の難関を突破した」のでした。テレビ画面に現れ、ソフトな語り口で核心をついた発言を続け、年令相応に賞禄のついた彼の顔には「助けて下さい」と、私に言った若き日の糸瀬茂の哀愁の面影はもう、どこにもないように見えました。でも、それからまもなくして週刊誌「AERA」の特集記事「負けない人生」のトップに登場して、「最後まで闘います」と語っている彼の顔はすっかりやせ細り、カメラ目線のその眼差しに再びあの若き日の哀愁の影がにじみ、私には、その言葉とは裏腹に「助けて下さい」と言っているように見えました。

旅立つ最後まで、彼はその気力、意志力、知力を総動員して最後まで戦い抜いた事を「文芸春秋」9月号で知りました。決して助けて下さいと言ってはいなかった。無力の先輩の私にできる事といえば、彼が最後の力を振り絞って書いた最後の論文「小泉純一郎宰相の決断《塩川・竹中・柳沢》経済閣僚に覚悟を問う」を読む事くらいでした。糸瀬さん、読みましたよ。そしてエコノミストの貴方にこのオマージュを捧げます。安らかにお眠り下さい。

原岡 浩子(昭和40年卒)

事務局より

ニッセル先生の異動の話題がありましたが、ウィリアム・エバレット(小山信夫)先生も、この5月に四谷から長崎に移られました。新しい住所は下記のとおりです。
〒850-0051 長崎市西坂町7-8 イエズス会レジデンス
(電話095-822-6000)

2000年に作成した、同窓会名簿の収支決算につきまして、ご報告いたします。

2000年度 上智大学英語学科同窓会
同窓会名簿作成 収支決算書
収入額 2,747,313円
支出額 1,582,019円
次回繰越金 1,165,294円

(単位:円)

| | 科目 | 金額 | 備考 |
|----|----------|-----------|-----------------|
| 収入 | 1 繰越金 | 943,922 | |
| | 2 積立金 | 1,800,000 | 600,000円×3年分 |
| | 3 利息 | 3,391 | |
| | 合計 | 2,747,313 | |
| 支出 | 1 印刷費 | 1,137,986 | 2,400部作成 |
| | 2 電子データ代 | 52,448 | |
| | 3 ラベル代 | 52,500 | |
| | 4 発送費 | 334,035 | 1,532人に発送 |
| | 5 事務処理費 | 5,050 | 振込料、郵送料、消耗品、etc |
| | 合計 | 1,582,019 | |

2000年度決算報告は、7ページ、定例総会報告を御覧ください。

SELDA セミナー

SELDAA セミナー

SELDAA セミナーは、
毎月一回、水曜日 10:30～12:00、
ソフィアーズ・クラブで開催されております。
今回は、今年度前半に行われた
セミナーについて、出席された方に
ご報告いただきました。

これまでに開催されたセミナー

●2001年4月25日(水)

後藤 徹也氏

(理学博士 / 日本エクス・クロン株式会社 代表取締役社長)

『赤い火と青い火 —— 原子力とは』

地球環境問題が議論される昨今、原子力は果たして本当に必要なのか、あるいは必要悪なのか、そんな興味を抱いて参加しました。

「火」の持つ「熱」と「光」、「燃える定義」、「色の見える定義」、「原子力は核分裂をする時に青い火を発する」等の話があり、「燃える」仕組みの面白さに気をとられてしまいました。無重力状態ではCO₂の輪が出来て酸素が入らず燃え続けることができないそうです。

結局、原子力の是か非かを詰める時間的余裕は無いままに終わってしまいましたが、今まで何気なく目にしてきたものにちゃんとした条件や理由があることに改めて気づき面白く思いました。

(足立 豊子)

●2001年5月23日(水)

木村 和美氏 (東京外国語大学講師、昭和49年英語学科卒)

『How to Write a Logical Essay in English : From the Point of View of Contrastive Rhetoric』

お話を聞いて、日本人と英語人の思考方法の違いや大学におけるライティング授業の不足から、学生達が上手く英語論文を書き切れない現状、はるか昔、私自身もアメリカの大学で直面したとまどいを思い出しました。益々国際化していく世界で、若者たちが互いに理解し、自分を存分に表現していくためには、正にこういう授業が必要だと思いました。

(昭和49年卒 三竹 みえ)

●2001年6月27日(水)

安西 祐一郎氏 (慶應義塾塾長)

『コンピュータは 心をもつか?』

コンピュータは論理に沿って組み立てられると思われがちだが、「人工知能」と言えるコンピュータを開発するためには人間の心のメカニズムを解き明かす事が重要である。感情や論理のエージェントをネットワークでつなぎ合わせると心の大部分に光をあてる事ができる、と御自身で翻訳されたM. ミンスキー著「心の社会」に沿って御講演いただきました。「人工知能」を扱った映画「A.I.」もあり、近未来の世界に興味を持ちました。

(昭和48年卒 百武 真理子)



●2001年7月11日(水)

寺田 朗子氏 (国境なき医師団日本会長)

『国境なき医師団(MSF)とは?』

私が何よりも驚いたのは「ロジスティシャン」の存在で、組織が高度に完成され、運営されていることに感動しました。ボランティアには組織化されても、実際の運営面ではお互いの「おもしろい」に依存し、うまく機能していない例を耳にします。そんな中でMSFが目覚ましい活躍をされているのは、組織を組織として機能させるというプロ意識が大きく働いているのではないかと痛感しました。

(榊原 智之 (日本大学大学院))

●2001年9月26日(水)

乳井 京子氏 (NPO地球の木副理事長、昭和46年英語学科卒)

『ネパール識字教育に学ぶ ——輝く瞳に魅せられて』

次号にて、出席者のレポートを御紹介いたします。

SELDA セミナー 今後の予定

★2001年10月24日(水)

Mrs. Maria Pomianowska

(駐日ポーランド共和国大使夫人)

小楽器演奏とポーランド文化の紹介

★2001年11月28日(水)

Mr. John Williams (上智大学外国語学部英語学科講師)

『映画論 「いちばん美しい夏」を通して』

★2001年12月12日(水)

片野順子氏 (ジャーナリスト、昭和46年英語学科卒)

『歩く大使館——実践から学ぶ英語』

2001年度定例総会報告

2001年度 SELDAA 定例総会が、今年もオール・ソフィアンズ・デーにあわせて5月27日(日)正午より、上智大学1号館201教室において開催されました。冒頭、議長に東郷公徳常任委員(昭和62年卒)、書記に池沢なるみ副会長(昭和48年卒)を選出しました。

【活動報告】

蔵田實会長(昭和48年卒)の代理として、池沢副会長が挨拶を行った後、以下の通り、前年度の活動報告が行われました。

- 1) 大日方聖信副会長・事務局長より、前年度の全般的な活動報告について
- 2) 佐藤誠一郎常任委員(昭和53年卒)から、会報編集について
- 3) 安西徳子常任委員(昭和49年卒)より、SELDA セミナーについて。男性の出席が少ないので、会員により呼びかけたい。世話役(コーディネーター)の交代を予定している。
- 4) 大日方聖信 副会長兼事務局長から、2000年度決算報告について

【2000年度予算案】

より多くの参加、内容の発展をめざし、SELDA セミナーの予算を前年度より多めにした事も含めて、大日方事務局長より説明がありました。審議の結果、2001年度予算案は、満場一致で承認されました。

【新会長選出】

蔵田会長の任期満了に伴う、新会長の選出を行いました。常任委員会より石川雅弥氏(昭和40年卒)が推薦され、満場一致で承認されました。石川新会長は就任挨拶の中で、来る外国語学部英語学科創設50周年記念を念頭におき、会報の充実を含め、どういう形で同窓会の親睦を図って行けば良いか改めて考えて行きたいと述べました。

【その他】

笠島準一名誉会長(英語学科長)から、英語学科の近況について。新任の先生方のこと、ドナルド・ドイル先生がアイルランドのラフカディオ・ハーン賞を受賞なさったことなどの報告。学科内容の充実・発展のため、市谷キャンパスの比較文化学部との提携授業ができるようになったこと、大学改革の動きなどの報告などがありました。

【懇親会】

総会終了後、懇親会が行われました。30名ほどが参加し、母校の懐かしい教室で和やかなひと時を楽しみました。

場所：ソフィアンズ・クラブ

時間：10:30～12:00

会費：3,000円/年 (英語学科卒業生)

5,000円/年 (英語学科以外)

500円/1回毎

*事前の予約は不要です。当日直接会場にお越しください。

世話人：熊野 順子 (昭和46年卒)

森本 佳子 (昭和46年卒)

落合 彰子(会計) (昭和46年卒)

(世話人が変わりました。新世話人から一言

——力不足ですが、よろしくお願いたします。)

2000年度 上智大学英語学科同窓会収支決算書
自2000年4月1日 至 2001年3月31日

| | |
|--------|-------------|
| 収入額 | 22,759,539円 |
| 収支額 | 3,451,768円 |
| 次年度繰越金 | 19,307,771円 |

(単位：円)

| | 科目 | 予算 | 決算 | 備考 |
|----|--------------|------------|------------|--|
| 収入 | 1 繰越金 | 18,612,211 | 18,612,211 | |
| | 2 会費 | 2,000,000 | 4,020,000 | |
| | 3 受取利息 | 10,000 | 127,328 | 銀行普通預金・債券・郵便普通・定期預金 |
| | 合計 | 20,622,211 | 22,759,539 | |
| 支出 | 1 名簿作成積立金 | 600,000 | 600,000 | |
| | 2 会報費 | 2,500,000 | 2,374,044 | 編集・印刷料 1,348,513 (税込み) 郵送料 911,850 (切手) 発送料 113,681 (封入・届出し) |
| | 3 SELDAAセミナー | 230,000 | 230,000 | |
| | 4 交流促進費 | 200,000 | 23,100 | |
| | 5 総会費 | 100,000 | 47,796 | 資料作成費・懇親会 |
| | 6 会議費 | 100,000 | 52,430 | 常任委員会運営費 |
| | 7 事務処理費 | 200,000 | 124,398 | 文書代・通信費・振込手数料・消耗品費等 |
| | 8 予備費 | 16,692,211 | 0 | |
| 合計 | 20,622,211 | 3,451,768 | | |
| | | | 19,307,771 | 2001年度に繰越 |

2001年度 上智大学英語学科同窓会予算
自2001年4月1日 至 2002年3月31日

(単位：円)

| | 科目 | 予算 | 備考 |
|----|--------------|------------|----------------------|
| 収入 | 1 繰越金 | 19,307,771 | 2000年度より繰越 |
| | 2 会費 | 2,000,000 | 入金も含む |
| | 3 受取利息 | 60,000 | 普通預金・郵便貯金・債券 |
| | 合計 | 21,313,771 | |
| 支出 | 1 名簿作成積立金 | 600,000 | 2003年度(2004年度3月)発行予定 |
| | 2 会報費 | 2,700,000 | 会報32・33号分 |
| | 3 SELDAAセミナー | 250,000 | 講師への謝礼・交通費、会議室利用料 |
| | 4 交流促進費 | 200,000 | ホームページ作成等 |
| | 5 総会費 | 100,000 | 資料作成費・懇親会 |
| | 6 会議費 | 150,000 | 常任委員会 |
| | 7 事務処理費 | 250,000 | 文書代・通信費・振込手数料・消耗品費等 |
| | 8 予備費 | 17,063,771 | |
| 合計 | 21,313,771 | | |

■異動通知にご協力ください。

ご住所、勤務先などに変更があった方、名簿の誤りを訂正される方、お名前の正しい読み方を知らせてくださる方は、英語学科同窓会事務局またはソフィア会事務局までお知らせください(英語学科同窓会事務局にお知らせいただいた場合、同窓会事務局よりソフィア会事務局に通知しております)。

また、住所不明の方が多数いらっしゃいます。消息をご存知の方、情報をお寄せください。

■SELDAAより、募集とお知らせ

◆SELDAAでは、皆様よりこの会報に載せる記事を募集しています。近況や最近感じたことなど、何でも結構です。書式は自由ですので、会報に同封の葉書、あるいは、便箋等にご記入の上、同窓会事務局宛にお送りください(写真も大歓迎)。

◆この同窓会の常任委員として手伝ってくださる方を募集しております。ボランティアで私達と一緒に会を盛り上げてくださる方、ご連絡お待ちしております。

上記に関するご応募・お問い合わせは、お気軽にどうぞ。

連絡先: 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 英語学科事務室気付 上智大学英語学科同窓会事務局

TEL.03-3238-3719 FAX.03-3238-3910 (Faxは、英語学科同窓会宛を明記してください)

E-mail:seldaa@mve.biglobe.ne.jp

■会費納入のお知らせ

本会の諸活動は、卒業生の皆様からの会費の納入によって賄われています。同窓会活動のより一層の充実と活性化を図るために、ぜひ会費をお支払い下さいますようお願い申し上げます。

会費の支払方法には、毎年会費を支払う「一般会員」と、一括払いの「終身会員」の2通りがあります。初めて会費をお支払いになる際には入会金も合わせてお支払い願います。金額は下記の通りです。同封の振替用紙にて最寄りの郵便局または銀行よりお支払いください。その際、ソフィア会会員番号を必ずご記入ください。(なお、振込用紙は、発送の都合上すべての方に送っておりますので、ご了承ください。)

入会金 : 1,000円

一般会員 : 年会費 2,000円 (できれば3年分まとめて)

終身会員 : 一括払い 20,000円

《あなたの会費納入状況》

封筒の宛名ラベルの右上をご覧ください。

◆「S」のスタンプが押してあるのは、「終身会員」であることを示しています。

◆「未」のスタンプが押してあるのは、今年度の会費が未納になっていることを示します。

6,000人を超える同窓会会員の会費納入状況のチェックには多大な手間と時間がかかります。チェックの時期と納入の時期が重なったなどのために行き違いがあった場合は何卒ご容赦ください。

◆ SELDAA 常任委員 (平成13年9月現在) ◆

■名誉会長/笠島 準一 (昭和48年卒)

■SELDAAセミナー/安西 徳子 (昭和49年卒)

■会 長/石川雅弥(昭和40年卒)

■常任委員/蔵田 實(昭和48年卒) 増田 光(昭和59年卒)

■副会長・事務局長/池沢なるみ(昭和48年卒)

東郷 公德(昭和62年卒)

■副 会 長/大日方聖信(昭和62年卒)

■監 査/井坂由美子(昭和47年卒) 岩村玲子(昭和49年卒)

■会 計/内藤恭子(昭和55年卒)

寺北ゆかり(昭和61年卒)

■会 報/佐藤誠一郎(昭和53年卒)

《編集後記》

●もっともっと皆様からの短信をお待ちしています。皆様の交流の場として使ってください。(M)